令和5年度　授業改善推進プラン（課題分析と授業改善策）　学校番号146　関町北小学校

第1学年

教科	課題分析	授業改善策
国語	(1) 仮名遣いや助詞、句読点の使い方など基礎的な読み書きの力に個人差がある。繰り返し指導して、確実に身に付けさせる必要がある。 (2) 話したい事柄を選んで話すことはできるが、書くことが苦手な子供が多い。伝えたいことを明確にする方法、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える方法を指導する必要がある。 (3) 図書の時間に自分で本を選ぶことができない子供もいるので読書に親しむ指導の工夫が必要である。	(1) 拗音や長音、促音等の仮名遣いや助詞の使い方のプリントを、関北タイムや宿題を活用して取り組ませ、基礎的な読み書きの力を確実に身に付けさせる。 (2) 一番伝えたいことは何かを明確にしてから書くことを習慣付ける。 (3) 読み聞かせ、教材や季節に合った 本の紹介を行い、読書への興味を広げる。
算数	(1) 数の概念とその表し方や簡単な計算問題については理解しているが、問題場面の数量の関係を正しく捉えて立式することについて課題がある。 (2) 量感に対する生活体験が少なく、量の大きさの比べ方について考えることや 、ものの形の特徴を捉えることが難しい。 (3) 算数を好む子供は多いが、子供各々の理解度に差がある。	(1)具体物を操作して、数の大きさや数のまとまりに着目させて、その意味や表し方についての経験を積ませる。 (2) 簡単な絵や図などに表すことによって、問題場面を想起させ、正しく立式できるように指導する。 (3) プリントなどを使った習熟や宿題での復習に取り組ませることで、学習内容の定着を図る。
生活	(1) 植物にある固有の特徴を絵や文章で表すことができない子供がいるため、工夫して指導する必要がある。 (2)身近な人々が自分の生活と関わっていることや支えられていることに気付いていない子供が多くいるため、目を向けさせる指導を行う必要がある。	(1) 的確にかけている子供の観察カードを紹介する機会を作り、友達のよい部分を取り入れて表現することができるように指導する。 (2) 身近な人々との関わりや交流を全体で振り返り、支えられているこ とに気付かせていく。あわせて、手紙やプレゼントなどの作成を通 して、感謝の気持ちを伝えていく心情を育てる。
音楽	(1))鍵盤ハーモニカの指使いが定着していない。	(1)手本を提示し、繰り返し練習することで、慣れるようにする。
図画工作	(1) 図画工作科の学習を楽しみにしている子供は多いが、自分の思いを表現するための手だてが思い浮かばない子供がいる。 (2) 自分の作業に集中して取り組んでいるが、周りの友達の作品にまで関心がいかない。	(1) 手や体全体の感覚を働かせる材料を使い、作りたいという気持ちを高める。 (2) お互いの作品を鑑賞する活動を通して、自分の見方や感じ方を広げさせる。
体育	(1)各種の運動遊びの経験が少なく、その行い方を十分に知らない。 (2)各種の運動遊びの経験が少ないため、工夫することまではできていない。また、自分が考えたことを分かりやすく友達に伝えることはまだできていない。	(1) 校庭が広くなったため、様々な運動遊びに取り組めるような場の設定を工夫し、子供と一緒にルールを考案・改善する。 (2)教師が運動遊びの工夫例をやって見せたり、友達の工夫をクラス全体に紹介したりする。言葉だけで伝えるのではなく、実際に運動しているところを見せて分かりやすく伝えられるようにする。